

令和7年度(第48回)石川県産業安全衛生大会

と き 令和7年10月16日(木)午後1時30分～

ところ 石川県地場産業振興センター 本館 大ホール

令和7年度(第48回)石川県産業安全衛生大会は去る令和7年10月16日(木)に、石川県地場産業振興センター本館大ホールにて開催され、石川県内の事業者や安全衛生管理担当者など、約250人が集まりました。



第1部では、労働災害により亡くなられた方々への黙祷の後、大会主催者を代表して、(公社)石川県労働基準協会連合会の高桑会長からの式辞、地域で安全衛生活動に積極的に取り組んでこられた事業場、個人及び団体への表彰式が行われました。

表彰受賞者は次のとおりです。

令和7年度 安全衛生表彰受賞者

○ 公益社団法人石川県労働基準協会連合会会長表彰 (受賞者五十音順)

(1) 事業場賞

株式会社イコマ・メカニカル (金沢市)

北鉄白山バス株式会社 (白山市)

(2) 功労賞

橋本 伸 富士工業株式会社 (白山市)

松枝 大介 株式会社東振精機 (能美市)

(3) 功績賞

新田 登 一般社団法人七尾労働基準協会 (七尾市)

(4) 団体賞

中日本ハイウェイ・メンテナンス北陸株式会社安全衛生推進会 (金沢市)



表彰後、石川県商工労働部 西村部長様 及び、石川労働局 八木局長様 からの祝辞を受けました。



第2部では、令和6年度安全衛生に係る厚生労働大臣表彰を受けられたSWS西日本(株)総務部北陸管理グループ長の濱谷真紀子様から、安全衛生活動の取組状況等の説明をいただきました。

続いて、特別講演「イマドキの若者の価値観・仕事観～メンタルヘルス不調を防ぐ手がかり～」と題し、神奈川大学客員教授の松本桂樹様からご講演をいただきました。

○ 安全衛生優良事業場事例発表

「働きやすい職場環境づくりと従業員健康管理充実の取組について」

SWS西日本(株) 総務部 北陸管理グループ長 濱谷 真紀子 氏



○特別講演

「イマドキの若者の価値観・仕事観～メンタルヘルス不調を防ぐ手がかり～」

神奈川大学 客員教授 松本 桂樹 氏



大会宣言

「大会宣言」(案)について会場からの拍手により採択され、「大会宣言」は令和7年度石川県産業安全衛生大会参加者の総意に基づき宣言されました。

大会宣言

石川県における労働災害は、近年、増加をみており、令和六年の休業四日以上之死傷災害は、コロナウィルス感染症を除き、一、二四九人となった。死亡災害は令和五年から倍増し十二人となった。本年においても同様の傾向が続いており、休業四日以上之死傷災害は、令和六年の同期に比べ大幅な増加となっている。その要因として、第三次産業における労働災害の増加、転倒災害や動作の反動災害などの作業行動に起因する災害の多発、墜落・転落災害の増加、高年齢労働者災害の増加などの課題があり、その解消を図り、労働災害防止をより一層取り組む必要がある。

労働者の健康をめぐることは、仕事や職業生活に関する不安や悩みを抱える労働者の増加が続く、本年五月の法律改正に伴い、五十人未満の事業場においてもストレスチェックが義務化されることとなり、また、化学物質の自律的管理に向けた危険有害性情報の伝達など、様々な課題への対策が求められている。

また、令和六年一月の能登半島地震及び九月の奥能登豪雨による復興工事等において、作業に従事する労働者の災害の増加が懸念され、労働災害防止及び健康管理対策について一層の徹底を図っていく必要がある。

このような現状において、労働災害を減少させ、働く人すべてが安全で健康に働くことのできる職場環境を築くためには、石川労働局第十四次労働災害防止計画に基づき、事業場が自発的に安全衛生対策に取り組む意識を持ち、関係者の一人ひとりが、労働の場における安全と健康の確保の重要性を改めて認識し、地域全体にその意識を広く浸透させ、効果的な取組の実施につなげていく必要がある。

労働災害のない、安心して働ける職場環境を実現することは、全ての働く人、全ての国民の願いである。本大会を契機に、労働災害による犠牲者をこれ以上出さないという決意を新たにし、関係者が一丸となって労働災害防止に取り組むことを誓う。

右宣言する。

令和七年十月十六日

第四十八回石川県産業安全衛生大会

令和8年度(第49回)石川県産業安全衛生大会は、令和8年10月27日(火)13:30から、石川県地場産業振興センター本館大ホールにて開催予定です。沢山の参加をお待ちしています。